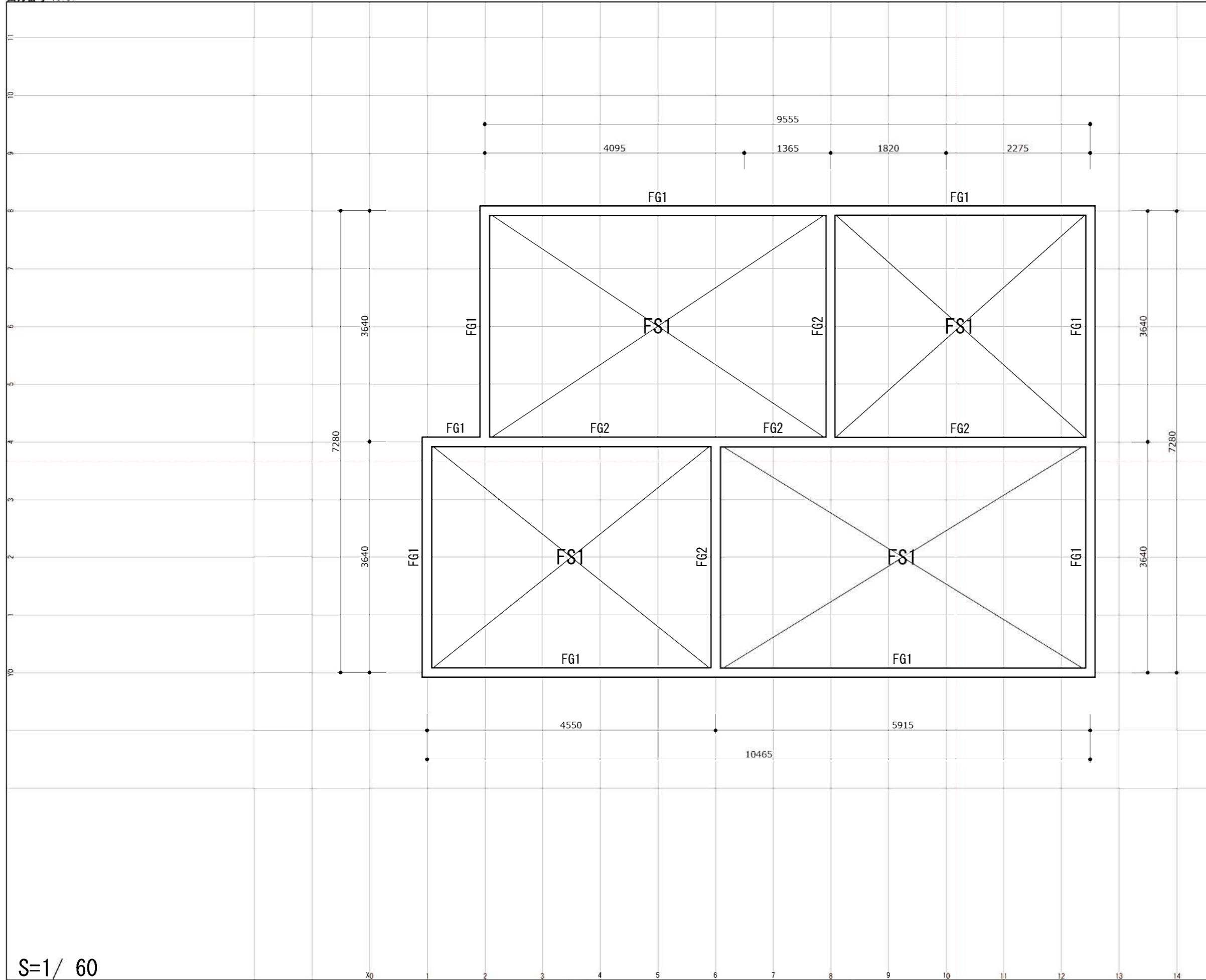


凡例
 アンカーボルトは間隔2m以下、かつ隅角部及び
 土台の継ぎ手部分に配置します。
 アンカーボルトM12 L=400 埋め込み長さ 250mm
 地盤の長期許容応力度 fe=30 (kN/m²)



基礎ばり

	はり幅d (mm)	はりせいD (mm)
	主筋	せん断補強筋
FG1	150	520
	D13	D10@200
FG2	150	500
	D13	D10@200

人通口

	はり幅d (mm)	はりせいD (mm)
	主筋	せん断補強筋

基礎スラブ

	厚 (mm)	縦方向	横方向
FS1	150	D13@200	D13@200
鉄筋		SD295A	
コンクリート		Fc21	

S=1/ 60

工事名称

梓組太郎邸 新築工事

図面名

基礎伏図・断面リスト

建築士事務所名

建築士事務所住所

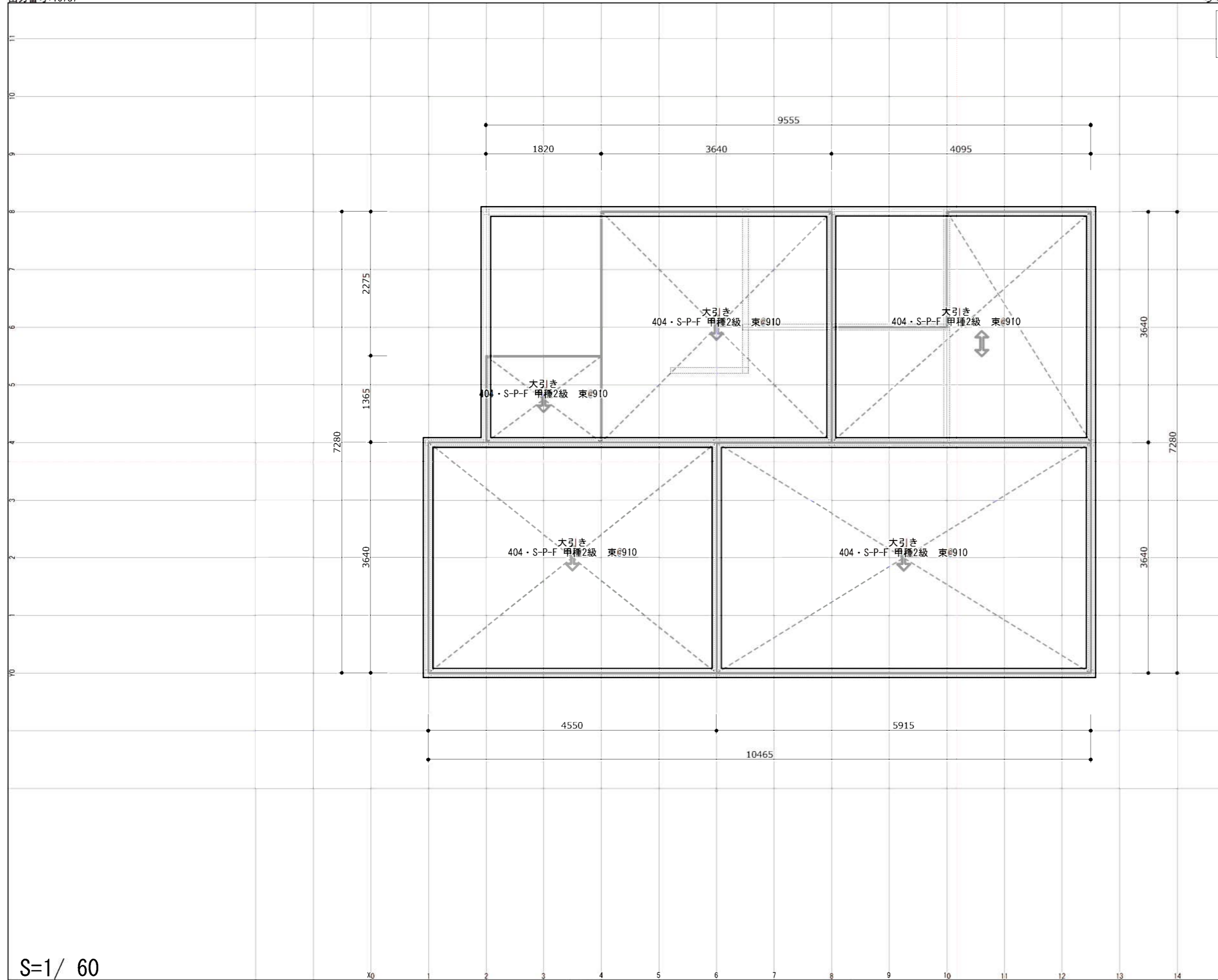
建築士事務所登録番号

建築士番号 建築士名

図面番号

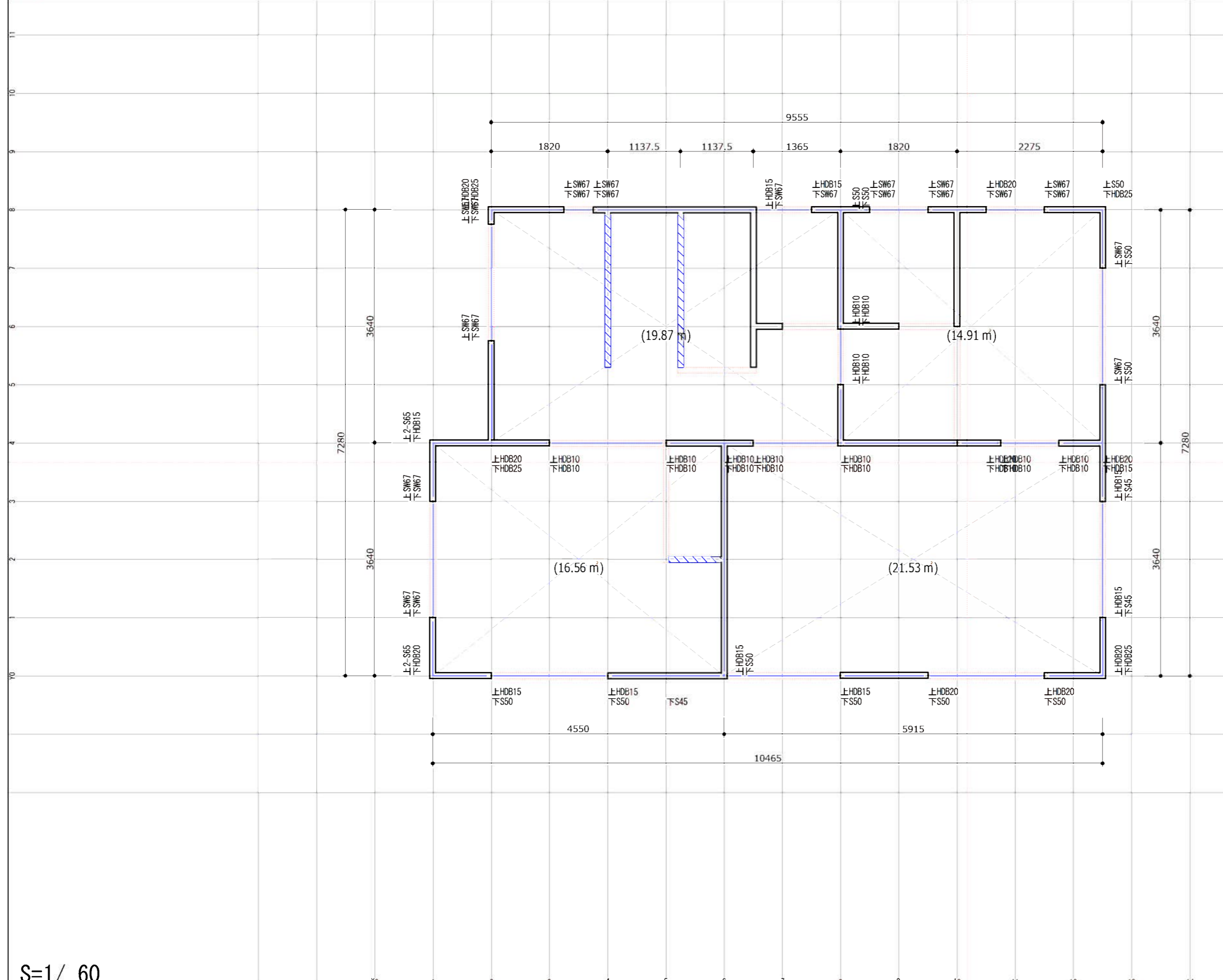
11-1

凡例
 特記なき限り 大引き404 S-P-F 甲種2級@910とします。
 特記なき限り 土台404 Hem-Fir 2級とします。



S=1/ 60

<p>工事名称</p> <p style="text-align: center;">梓組太郎邸 新築工事</p>	<p>図面名</p> <p style="text-align: center;">土台伏図</p>	<p>建築士事務所名</p> <p>建築士事務所住所</p> <p>建築士事務所登録番号</p> <p>建築士番号 建築士名</p>	<p>図面番号</p> <p style="text-align: center;">11-2</p>
---	--	--	---



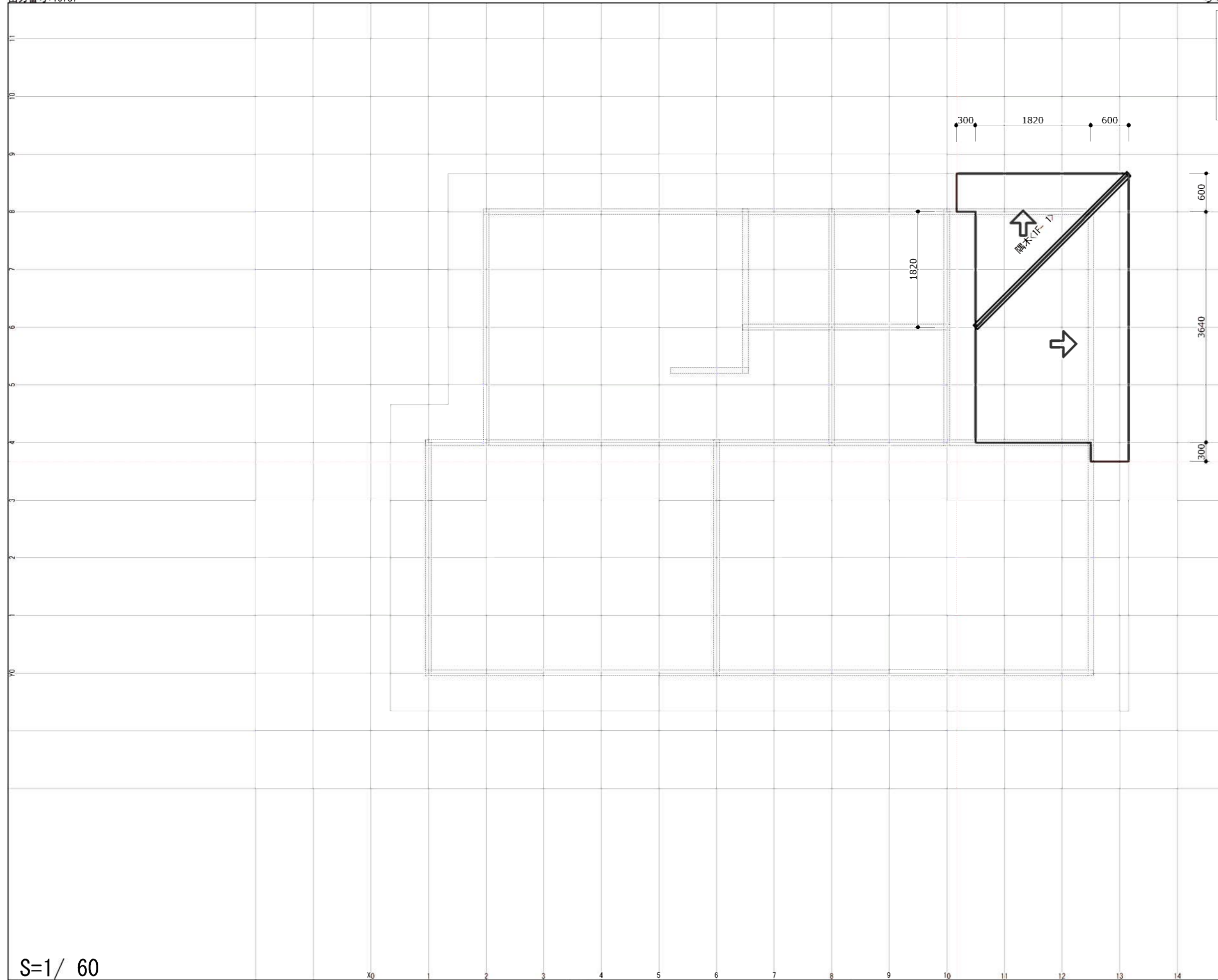
凡例
 特記なき限り たて枠204 S-P-F 甲種2級@455とします。
 特記なき限り まぐさ2-206 S-P-F 甲種2級とします。
 □記号+数値で補強たて枠の本数を示します。
 (数値)でまぐさ受けの本数を示します。
 特記なき限り 耐力壁の隅角部、T字型交差部、十字型交差部は、204たて枠3本以上、206たて枠2本以上とします。
 特記なき限り まぐさ受けは1本とします。
 引寄せ金物は図面に記載以上の存在接合部倍率を有するものを使用することがあります。
 ▲記号は引寄せ金物を示します。

記号	図面での表現	存在接合部倍率(NR値)
S45	S45	0.6
S50	S50	1.1
SW67	SW67	1.8
2-S65	2-S65	2.3
HDB10	HDB10	1.8
HDB15	HDB15	2.8
HDB20	HDB20	3.7
HDB25	HDB25	4.7

S=1/ 60

工事名称 <p style="text-align: center;">枠組太郎邸 新築工事</p>	図面名 <p style="text-align: center;">1Fたて枠平面図</p>	建築士事務所名 建築士事務所住所 建築士事務所登録番号 建築士番号 建築士名	図面番号 <p style="text-align: center;">11-3</p>
---	--	---	---

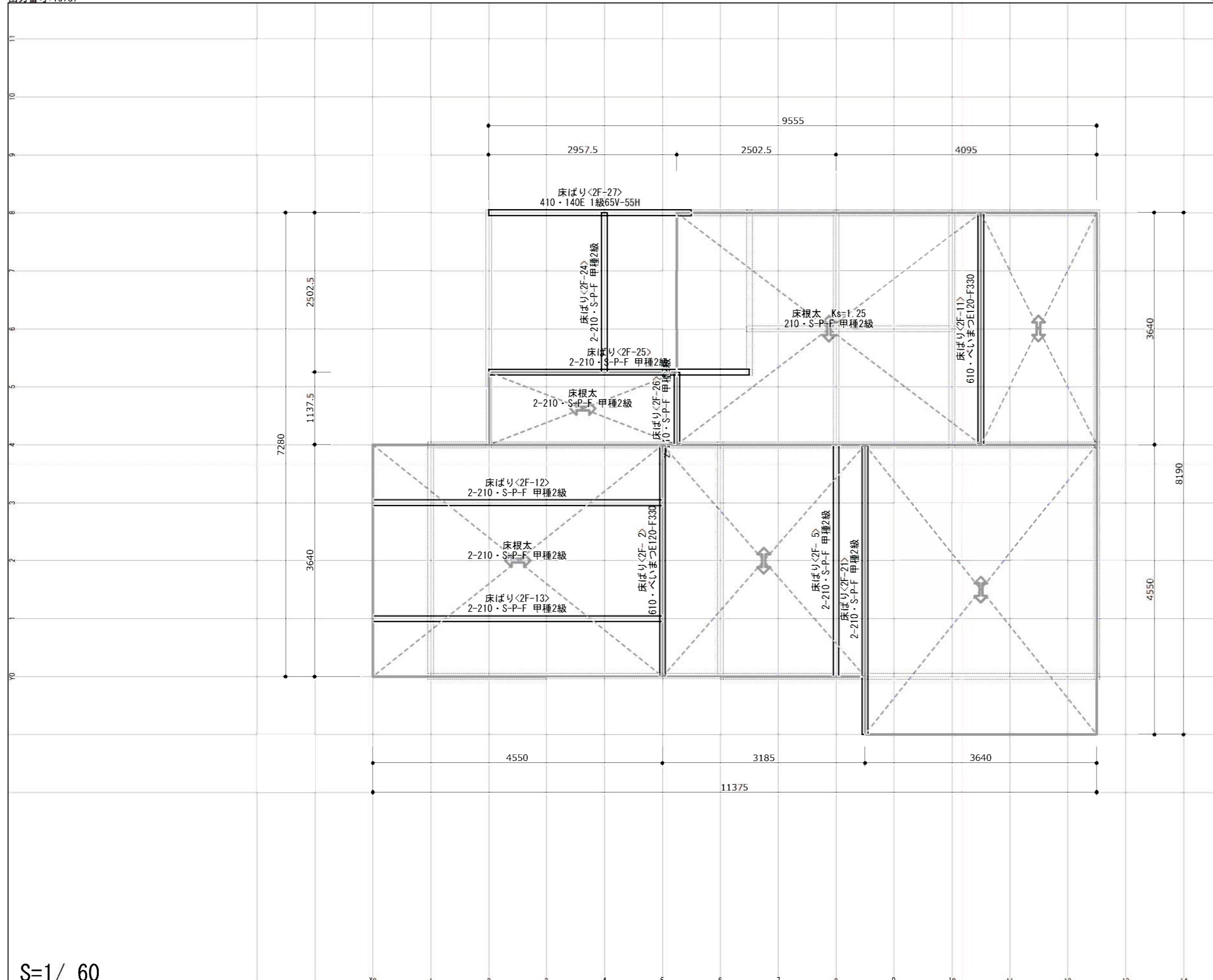
凡例
 特記なき限り たるき206 S-P-F 甲種2級@455とします。
 特記なき限り 屋根ばり2-210 S-P-F 甲種2級とします。
 特記なき限り 隅木・谷木2-210 S-P-F 甲種2級とします。
 勾配 5.0寸
 軒の出 600mm
 点線部分は同階の壁線を表示します。



S=1/ 60

工事名称 <p style="text-align: center;">梓組太郎邸 新築工事</p>	図面名 <p style="text-align: center;">1F小屋伏図</p>	建築士事務所名 建築士事務所住所 建築士事務所登録番号 建築士番号 建築士名	図面番号 <p style="text-align: center;">11-4</p>
---	--	---	---

凡例
 特記なき限り 床根太210 S-P-F 甲種2級@455とします。
 点線部分は下階の壁線を表します。

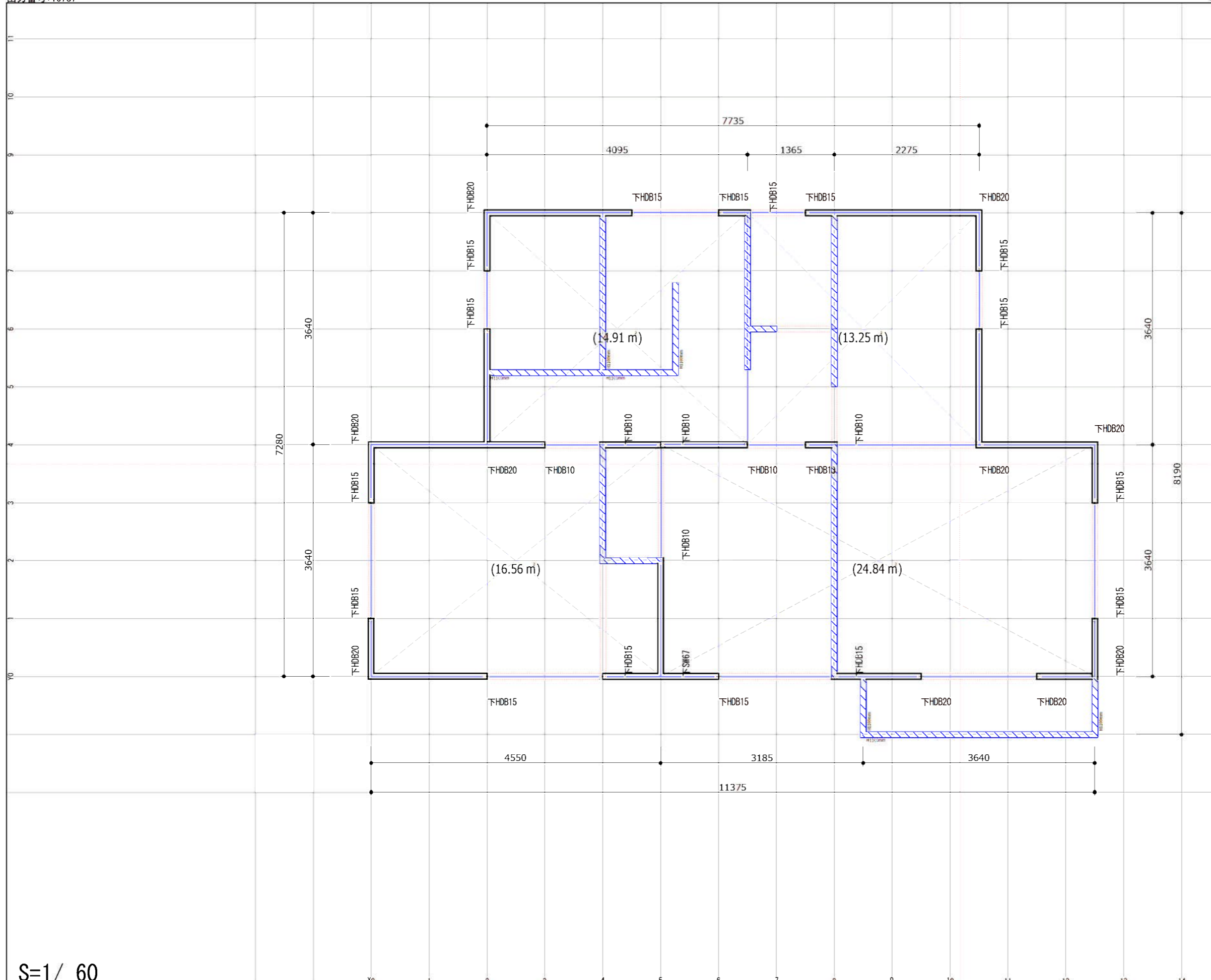


S=1/ 60

<p>工事名称</p> <p style="text-align: center;">梓組太郎邸 新築工事</p>	<p>図面名</p> <p style="text-align: center;">2F床伏図</p>	<p>建築士事務所名</p> <p>建築士事務所住所</p> <p>建築士事務所登録番号</p> <p>建築士番号 建築士名</p>	<p>図面番号</p> <p style="text-align: center;">11-5</p>
---	---	--	---

凡例

特記なき限り たて枠204 S-P-F 甲種2級@455とします。
 特記なき限り まぐさ2-206 S-P-F 甲種2級とします。
 □記号+数値で補強たて枠の本数を示します。
 (数値)でまぐさ受けの本数を示します。
 特記なき限り 耐力壁の隅角部、T字型交差部、十字型交差部は、204たて枠3本以上、206たて枠2本以上とします。
 特記なき限り まぐさ受けは1本とします。
 引寄せ金物は図面に記載以上の存在接合部倍率を有するものを使用することがあります。
 ▲記号は引寄せ金物を示します。

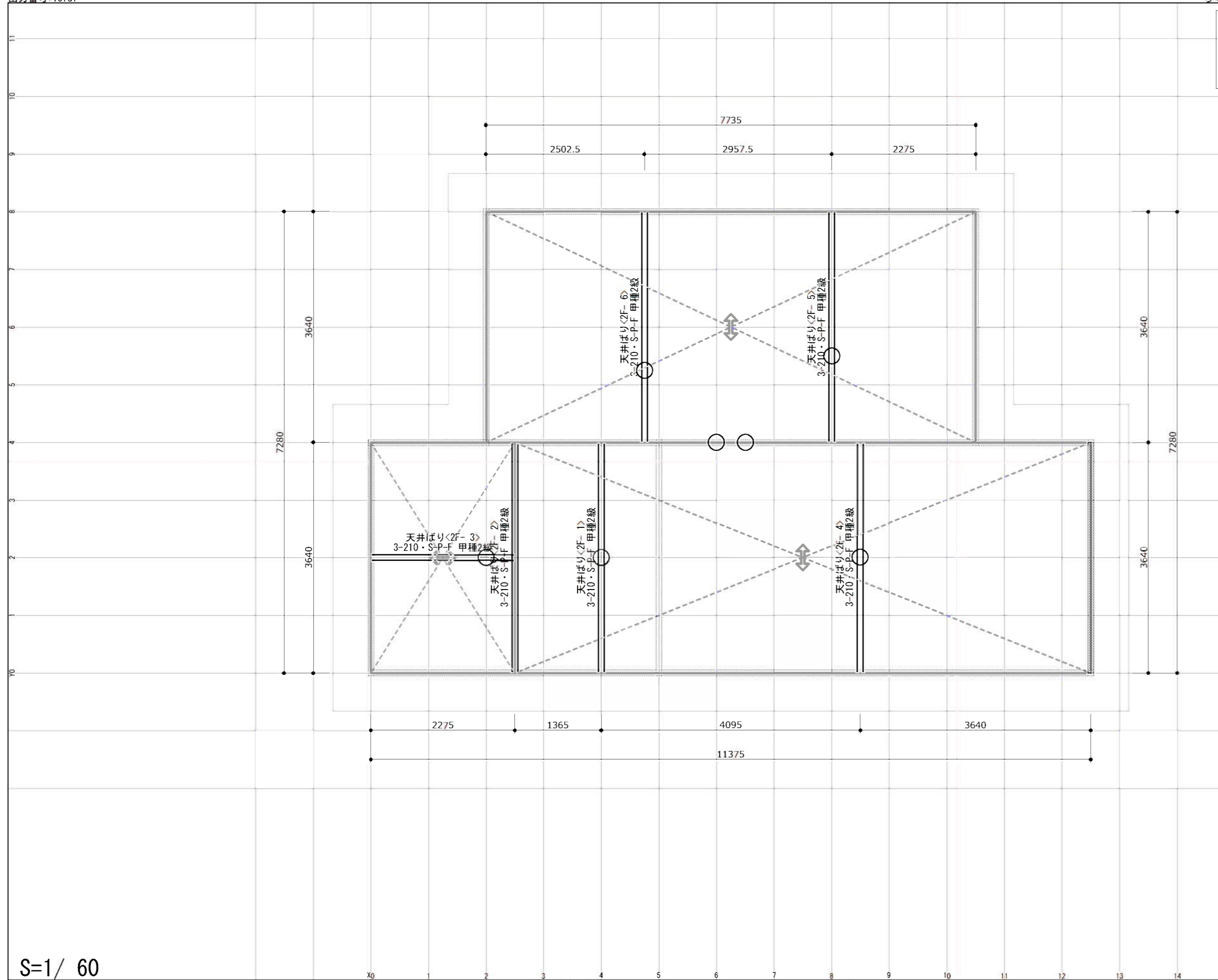


S=1/ 60

工事名称 <p style="text-align: center;">枠組太郎邸 新築工事</p>	図面名 <p style="text-align: center;">2Fたて枠平面図</p>	建築士事務所名 建築士事務所住所 建築士事務所登録番号 建築士番号 建築士名	図面番号 <p style="text-align: center;">11-6</p>
---	--	---	---

記号	図面での表現	存在接合部倍率(NR値)
SW67	SW67	1.8
HDB10	HDB10	1.8
HDB15	HDB15	2.8
HDB20	HDB20	3.7

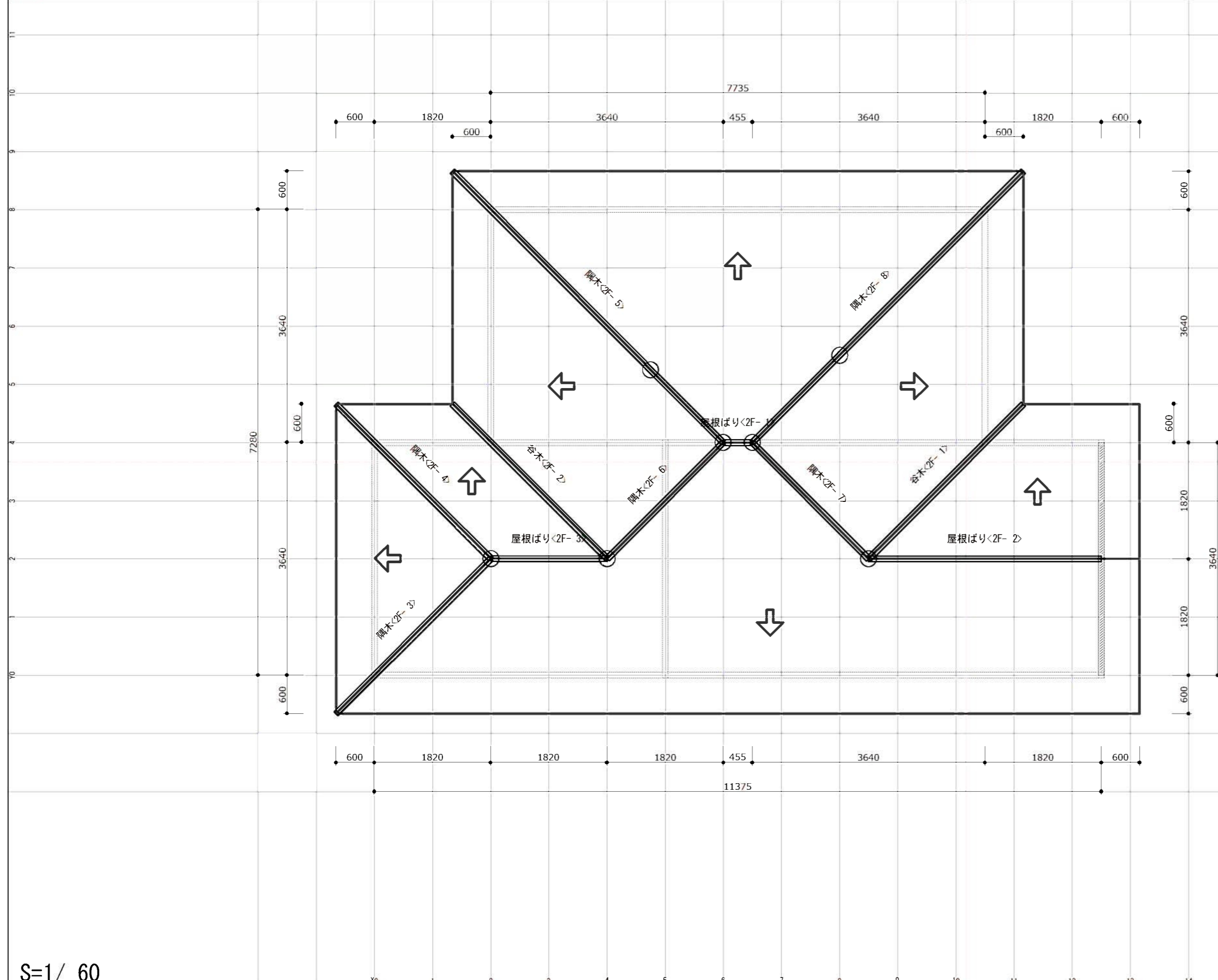
凡例
 特記なき限り 天井根太204 S-P-F 甲種2級@455とします。
 斜線部分は小屋壁を表します。
 ○印は束を表します。
 点線部分は同階の壁線を表します。



S=1/ 60

工事名称 <p style="text-align: center;">梓組太郎邸 新築工事</p>	図面名 <p style="text-align: center;">2F天井伏図</p>	建築士事務所名 建築士事務所住所 建築士事務所登録番号 建築士番号 建築士名	図面番号 <p style="text-align: center;">11-7</p>
---	--	---	---

凡例
 特記なき限り たるき206 S-P-F 甲種2級@455とします。
 特記なき限り 屋根ばり2-210 S-P-F 甲種2級とします。
 特記なき限り 隅木・谷木2-210 S-P-F 甲種2級とします。
 勾配 5.0寸
 軒の出 600mm
 点線部分は同階の壁線を表示します。



S=1/60

工事名称 <p style="text-align: center;">梓組太郎邸 新築工事</p>	図面名 <p style="text-align: center;">2F小屋伏図</p>	建築士事務所名 建築士事務所住所 建築士事務所登録番号 建築士番号 建築士名	図面番号 <p style="text-align: center;">11-8</p>
---	--	---	---